

四三七二番

足柄あしがらの み坂さか給たまはり 顧かへりみず 我あれは越くえ行ゆく
 荒あらし男をも 立たしやはばかる 不ふ破はの関せき 越くえて我わ
 は行ゆく 馬むまの爪つめ 筑つくし紫むらの崎さきに 留ちまり居ゐて 我あれは
 齋いははむ 諸もろもろは 幸さけくと申まをす 帰かへり来くまでに

四三七三番

今日けふよりは 顧かへりみなくて 大おほきみ君みの 醜しこのみ楯たてと
 出いで立たつ 我われは